

令和8年度 北海道有朋高等学校通 信制課程 シラバス	【科 目】 英語コミュニケーション I (上)	単位数： 単位 2
教科書：All Aboard! English Communication I (東京書籍)		
学習書： 有・無	入門書： 有・無	補助教材： 有・無
試験：2回 筆記2回	報告課題：全6回	最低面接時間数 8時間

1 学習の到達目標

- 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2 科目の特色

- 身近なことから国際的な問題まで、様々なテーマに関する英文を読んだり、実際に英語を書いたりすることを通じて、他の言語や文化についての理解を深める。

3 評価の観点・方法 (年間の評価)

①評価の観点 (評価は次の3つの観点から行います)

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともにこれらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけたか。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養ったか。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養ったか。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名 (指導内容)	提出期間	関連する NHK テレビ高校講座 英語コミュニケーション I
第1回	Warm-up 1.2.3 Pre-Lesson 1 (be 動詞)	4.28 - 5.17	2 Pre-Lesson 1
第2回	Pre-Lesson 2 (一般動詞)	6.9 - 6.17	3 Pre-Lesson 2
第3回	Lesson 1 Breakfast around the World (過去形)	7.9 - 7.18	4・5 Lesson 1
第4回	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas (進行形)	9.15 - 9.25	6・7 Lesson 2
第5回	Lesson 3 Life with Spade (助動詞)	10.28 - 11.6	8・9 Lesson 3
第6回	Lesson 4 A Miracle Mirror (to 不定詞)	12.8 - 12.18	11・13 Lesson 4
中間試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第2号参照		
終末試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第3号参照		

5 学習のすすめかた

- 報告課題の解説、教科書、学習書をよく読んで学習に取り組んでください。
- 英語の音声を聞いて正しい音声を確認し、文法を覚えて積極的に英語を話すようにしましょう。
- 音声を聞いて、正しい音声を確認し、教科書の音読を積極的にしてください。

2026年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科目】 英語コミュニケーション I (下)	単位数： 単位 2 単位
教科書： All Aboard! English Communication I (東京書籍)		
学習書： 有・無	入門書： 有・無	補助教材： 有・無
試験：2 回 筆記 2 回	報告課題： 全 6 回	最低面接時間数 8 時間

1 学習の到達目標

- 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2 科目の特色

- 身近なことから国際的な問題まで、様々なテーマに関する英文を読んだり、実際に英語を書いたりすることを通じて、他の言語や文化についての理解を深める。

3 評価の観点・方法 (年間の評価)

① 評価の観点 (評価は次の3つの観点から行います)

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどへの理解を深めるとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、これらの知識を目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけたか。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養ったか。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養ったか。

② 評価方法

- 「知識・技能」： 報告課題の評点平均をもとに評価します。
- 「思考・判断・表現」： 中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
- 「主体的に学習に取り組む態度」： 報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名 (指導内容)	提出期間	関連する NHK テレビ 高校講座
第 1 回	Lesson 5 Learning from the Sea (動名詞)	4.30 - 5.19	第 17、18 回
第 2 回	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period (受け身)	6.10 - 18	第 21、22 回
第 3 回	Lesson 7 A Diary of Hope (比較表現)	7.10 - 19	第 23～25 回
第 4 回	Lesson 8 A Door to a New Life (現在完了形)	9.17 - 27	第 26、27 回
第 5 回	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution (分詞)	10.30 - 11.8	第 29～31 回
第 6 回	Lesson 10 Pig from across the Sea (関係代名詞)	12.11 - 21	第 34～36 回
中間試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第 2 号参照		
終末試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第 3 号参照		

5 学習のすすめ方

- 報告課題の解説、教科書、学習書をよく読んで学習に取り組んでください。
- 英語の音声を聞いて正しい音声を確認し、文法を覚えて、積極的に英語を話すようにしましょう。

令和8年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科目】 英語コミュニケーションⅡ(上)	単位数： 単位 3単位
教科書：All Aboard! English Communication II (東京書籍)		
学習書： 有・無	入門書： 有・無	補助教材： 有・無
試験：2回 筆記2回	報告課題：全9回	最低面接時間数 12時間

＜この科目は、英語コミュニケーションⅡを分割して履修するものです＞

1 学習の到達目標

- ①必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- ②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- ③基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話し合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- ④基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- ⑤基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 科目の特色

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

3 評価の観点・方法(年間の評価)

① 評価の観点(評価は次の3つの観点から行います)

知識・技能	英語という言語の働きや役割を理解し、報告課題に取り組みながら実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけることができたか。
思考・判断・表現	英語で提供された幅広い話題についての情報や考えなどを的確に理解し学習に取り組んだか。疑問点は調べたり質問したりして解決する努力をし、必要な情報を取捨選択して的確にまとめることができたか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどして、年間を通じて通信制での学習を調整し、英語という言語やその背景にある文化に関心を持って、自主的、自律的に課題や面接に取り組むことができたか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単元名(指導内容)	提出期間	関連するNHKラジオ 高校講座 英語コミュニケーションⅡ
第1回	Lesson 1 A Colorful Island (関係代名詞 what)	4.26- 5.15	第3回～第5回
第2回	Lesson 2 With the Beatles (比較表現)	6. 2 - 6.11	第6回～第8回
第3回	Lesson 3 Wild Men (itの用法)	6.29- 7. 7	第9回～第11回
第4回	文法のまとめ 1 (関係代名詞 what/比較表現/itの用法) Communication 1 (病院で診察)	7.24- 8. 3	第4回(関係代名詞) 第6・7回(比較表現) 第10回(itの用法)
第5回	Lesson 4 Little Hero (間接疑問文)	9. 2- 9.11	第12回～第14回
第6回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki (to不定詞を含む表現)	10. 2-10.11	第16回～第19回
第7回	文法のまとめ 2 (間接疑問文/to不定詞を含む表現/ 動詞の形と「時」の関係) Word Box 1 (Feelings and Emotions)	11. 2-11.11	第13回(間接疑問文) 第17回(to不定詞を含む表現)
第8回	文法のまとめ 2 (動詞の形と「時」の関係) Extra Target 1 (現在完了進行形) Word Box 2 (A Day in English :Part 1)	12. 2-12.12	第15回(現在完了進行形)
第9回	Reading 1 Mujina	1. 5- 1.14	「物語文」の精読のため無し
中間試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教YUHO第2号参照		
終末試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教YUHO第3号参照		

5 学習の進め方

- ・教科書や学習書、解説をよく読んで学習に取り組みましょう。
- ・音源を活用し、正しい音声を確認し、教科書の音読を積極的にしましょう。
- ・報告課題の質問感想欄には必ず記入し、理解を深める機会にしましょう。

令和8年度 北海道有朋高等学校 通信制課程 シラバス	【科目】 英語コミュニケーションⅡ（下）	単位数： 単位 3単位
教科書：All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）		
学習書： 有・無	入門書： 有・無	補助教材： 有・無
試験：2回 筆記2回	報告課題：全9回	最低面接時間数 12時間

<この科目は、英語コミュニケーションⅡを分割して履修するものです>

1 学習の到達目標

- ①必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- ②必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- ③基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話し合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- ④基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- ⑤基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 科目の特色

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

① 評価の観点（評価は次の3つの観点から行います）

知識・技能	英語という言語の働きや役割を理解し、報告課題に取り組みながら実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけることができたか。
思考・判断・表現	英語で提供された幅広い話題についての情報や考えなどを的確に理解し学習に取り組んだか。疑問点は調べたり質問したりして解決する努力をし、必要な情報を取捨選択して的確にまとめることができたか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどして、年間を通じて通信制での学習を調整し、英語という言語やその背景にある文化に関心を持って、自主的、自律的に課題や面接に取り組むことができたか。

② 評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名 (指 導 内 容)	提出期間	関連する NHK ラジオ高校講座 英語コミュニケーションⅡ
第1回	Lesson6 Seeds for Future Generations (動詞の目的語になる if 節)	4.28 - 5.17	第20回～第23回
第2回	Lesson 7 Over the Wall (関係副詞)	6.3 - 6.12	第24回～第27回
第3回	Lesson 8 Inspiration from Nature (知覚動詞)	6.30 - 7.8	第28回～第31回
第4回	Word Box ④・Communication ② (入国審査) Grammar(p.116)・文法のまとめ ③	7.27 - 8.6	第22回・25回・26回・29回 (文法のまとめ ③)
第5回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate (使役動詞)	9.6 - 9.15	第32回～第35回
第6回	Lesson10 Fighting Angel (分詞構文)	10.6 - 10.15	第37回～第40回
第7回	Reading2 Bear's Pie(1) pp.148-150・Hit the Target(p.160)	11.6 - 11.15	第4回・6回・7回・10回・ 13回・17回 (Hit the Target)
第8回	Reading2 Bear's Pie(2) pp152-153・Word Box ⑤ Hit the Target(p.161)	12.6 - 12.16	第22回・25回・26回・ 29回・33回・34回・38回・ 39回 (Hit the Target)
第9回	Grammar (p.130)・Extra Target2・Grammar (p.144) 文法のまとめ ④	1.5 - 1.14	第33回・34回 Grammar (p.130) 第38回・39回 Grammar (p.144)
中間試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第2号参照		
終末試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第3号参照		

5 学習の進め方

- ・教科書や学習書、解説をよく読んで学習に取り組みましょう。
- ・音源を活用し、正しい音声を確認し、教科書の音読を積極的に行いましょう。
- ・報告課題の質問感想欄には必ず記入し、理解を深める機会にしましょう。

令和8年度 北海道有朋高等学校通 信制課程 シラバス	【科 目】 論理・表現 I	単位数： 単位 2
教科書：NEW FAVORITE English Logic and Expression I（東京書籍）		
学習書： 有・無	入門書： 有・無	補助教材： 有・無
試験：2回 筆記 2回	報告課題：全 6回	最低面接時間数 8時間

1 学習の到達目標

基本的な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。

2 科目の特色

実際に英語を用いながら、論理的に表現する活動を中心に学習を進める。

3 評価の観点・方法（年間の評価）

①評価の観点

知識・技能	調べ学習を通じて、英語の特徴やきまりを理解し、適切に使用できるか。
思考・判断・表現	情報を整理しながら、英語で自分の考えを表現したり、伝え合うことができるか。
主体的に学習に取り組む態度	情報や考え、気持ちを伝える活動を行い、期限内に課題を提出できるか。 主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。

②評価方法

- 「知識・技能」：報告課題の評点平均をもとに評価します。
「思考・判断・表現」：中間試験・終末試験の評点平均をもとに評価します。
「主体的に学習に取り組む態度」：報告課題の提出状況をもとに評価します。

4 年間学習計画

報告課題・試験	単 元 名（指導内容）	提出期間	関連する NHK ラジオ 高校講座論理・表現 I
第1回	Unit 1 Lesson 1～3（初めての食事 / 道に迷う / 人物紹介）	4.30～5.19	第2～4回
第2回	Unit 1 Lesson 4～6 （体調が悪い / 買い物 / 行ってみたい場所）	6.10～6.18	第5～6回 第10～11回
第3回	Unit 1 Lesson 7～9 （イベントに誘われる / スクールカウンセラーに相談 / お気に入りを紹介）	7.10～7.19	第13～15回
第4回	Unit 1 Lesson 10～12 （待ち合わせに遅刻 / 家庭でのディスカッション / 英字新聞に投稿）	9.17～9.27	第17～20回 第21回
第5回	Unit 2 Lesson 1～4 （クラスでディベート①② / 経験談のスピーチ / 遊びやスポーツを紹介）	10.30～11.8	第28～29回 第31～32回
第6回	Unit 2 Lesson 5～8 （日本をPR/物事の両面を伝える / 読み手を納得させる / 読み手を説得する）	12.11～12.21	第33回 第35～37回
中間試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第2号参照		
終末試験	出題範囲と要点、参考資料等は通教 YUHO 第3号参照		

5 学習のすすめかた

報告課題の解説、教科書、学習書をよく読んで学習に取り組んでください。
英語の音声を聞いて、正しい音声を確認し、表現を覚えて、声に出してみましょう。